

I 調査結果の概要

1 平成26年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量の動向

作付（収穫）面積は、切り花類が1万5,090ha、球根類が379ha、鉢ものの類が1,764ha、花壇用苗ものの類が1,491haで、前年産に比べてそれぞれ290ha（2%）、35ha（8%）、32ha（2%）、40ha（3%）減少した。

出荷量は、切り花類が39億4,900万本、球根類が1億810万球、鉢ものの類が2億3,360万鉢、花壇用苗ものの類が6億9,240万本で、前年産に比べてそれぞれ1億1,700万本（3%）、400万球（4%）、1,050万鉢（4%）、1,850万本（3%）減少した。

表1 平成26年産花きの類別作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

類別	作付(収穫)面積	出荷量	対前年産比	
			作付(収穫)面積	出荷量
	ha	万本(球・鉢)	%	%
切り花類	15,090	394,900	98	97
球根類	379	10,810	92	96
鉢ものの類	1,764	23,360	98	96
花壇用苗ものの類	1,491	69,240	97	97

注：1 球根類及び鉢ものの類は、収穫面積である。

2 出荷量の単位は、切り花類及び花壇用苗ものの類が万本、球根類が万球、鉢ものの類が万鉢である。

2 類別・品目別の作付（収穫）面積及び出荷量の動向

(1) 切り花類

作付面積は1万5,090ha、出荷量は39億4,900万本で、前年産に比べてそれぞれ290ha（2%）、1億1,700万本（3%）減少した。

品目別にみた出荷量の構成割合は、きくが40%、カーネーション及びばらが7%となっており、この3品目で全体の5割以上を占めている。

図1 切り花類の品目別出荷量割合

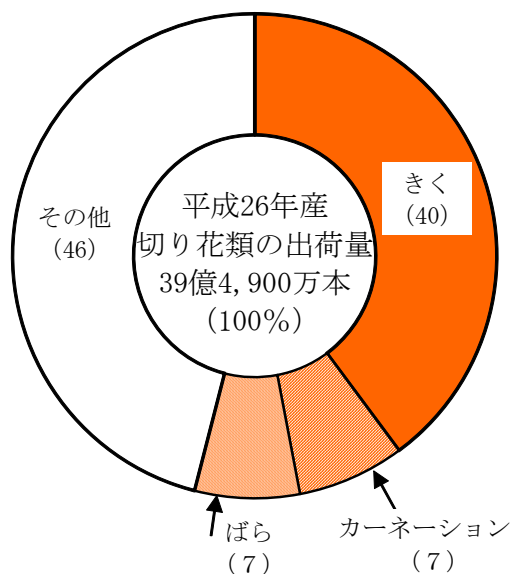


図2 切り花類の作付面積及び出荷量の推移

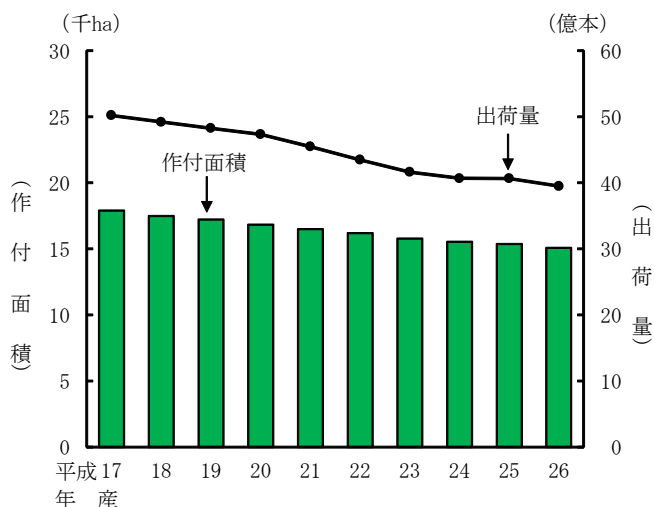


表2 平成26年産切り花類の作付面積及び出荷量（全国）

品目	作付面積	出荷量	対前年産比		参考 産出額 (平成25年)
			作付面積	出荷量	
	ha	万本	%	%	億円
切り花類	15,090	394,900	98	97	2,079
うちき	5,007	157,300	98	98	654
うち輪ぎ	2,627	85,520	97	99	…
スプレイぎ	728	24,170	100	96	…
小ぎ	1,651	47,630	99	98	…
カーネーション	326	28,300	94	93	128
ばら	378	27,650	96	96	187
りんどう	440	8,520	97	104	36
洋ラン類	141	1,790	93	94	46
スターチス	189	11,730	98	99	46
ガーベラ	93	16,500	98	100	45
トルコギキョウ	424	10,000	98	98	108
ゆり	772	14,410	98	97	211
アルストロメリア	85	6,030	96	101	37
切り葉	714	13,760	101	97	43
切り枝	3,667	20,950	99	98	138

注： 1 切り花類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計値である。
 2 産出額は、農林水産省統計部『平成25年生産農業所得統計』による（以下の表において同じ。）。
 3 「…」は、事実不詳または又は調査を欠くものである

ア きく

作付面積は5,007ha、出荷量は15億7,300万本で、前年産に比べてそれぞれ89ha（2%）、2,600万本（2%）減少した。

都道府県別にみた出荷量の割合（以下「都道府県別」という。）は、愛知県が29%、沖縄県が18%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図3 きくの都道府県別出荷量割合

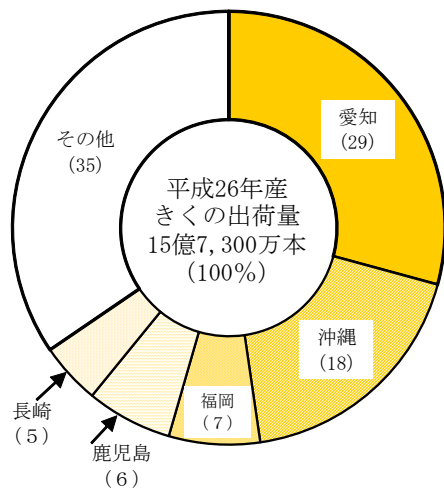
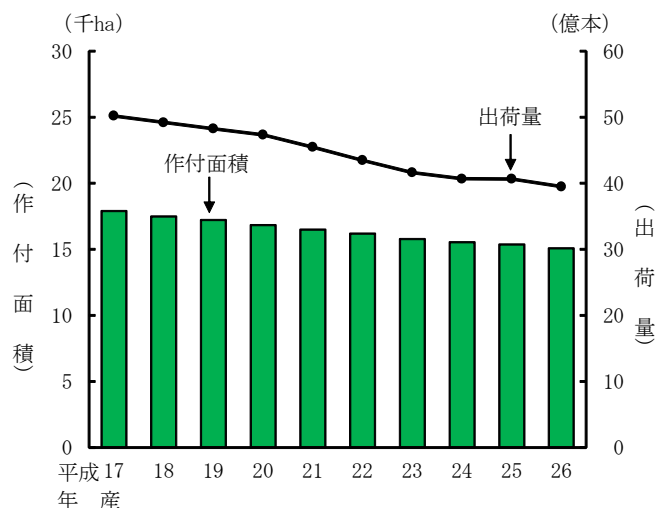


図4 きくの作付面積及び出荷量の推移



イ カーネーション

作付面積は326ha、出荷量は2億8,300万本で、前年産に比べてそれぞれ22ha（6%）、2,170万本（7%）減少した。これは、雪害による施設の破損、他品目への転換等による。

都道府県別では、長野県が18%、愛知県が17%、兵庫県及び北海道が11%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図5 カーネーションの都道府県別出荷量割合

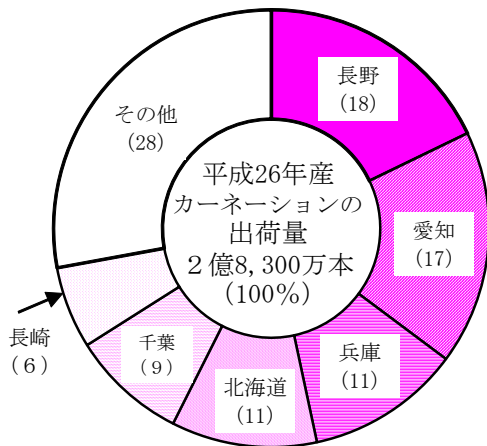
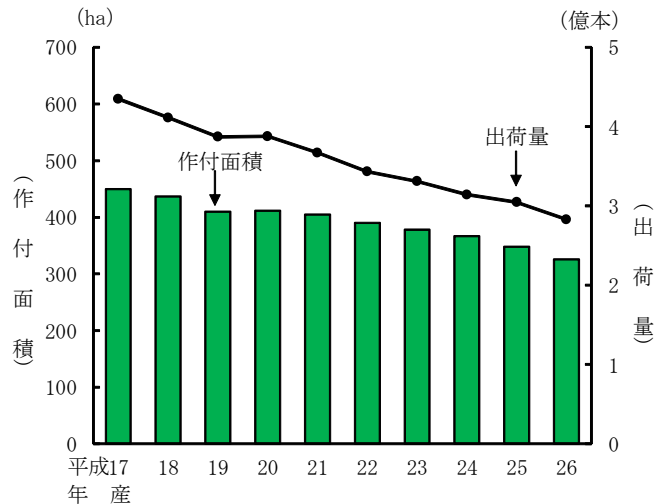


図6 カーネーションの作付面積及び出荷量の推移



ウ ばら

作付面積は378ha、出荷量は2億7,650万本で、前年産に比べてそれぞれ17ha（4%）、1,040万本（4%）減少した。これは、燃油価格の高騰に伴う規模縮小等による。

都道府県別では、愛知県が全国の約2割を占めている。

図7 ばらの都道府県別出荷量割合

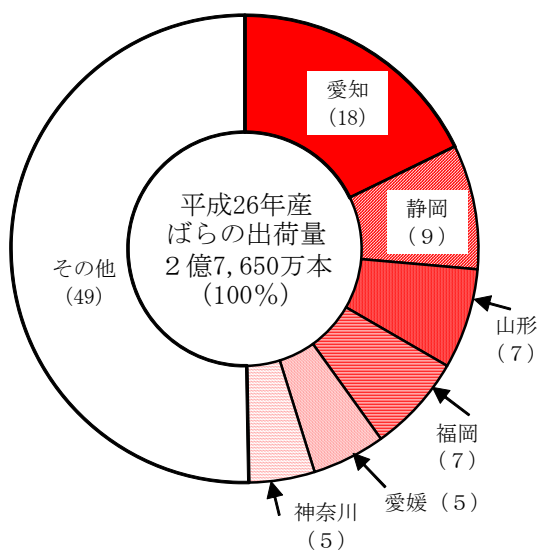
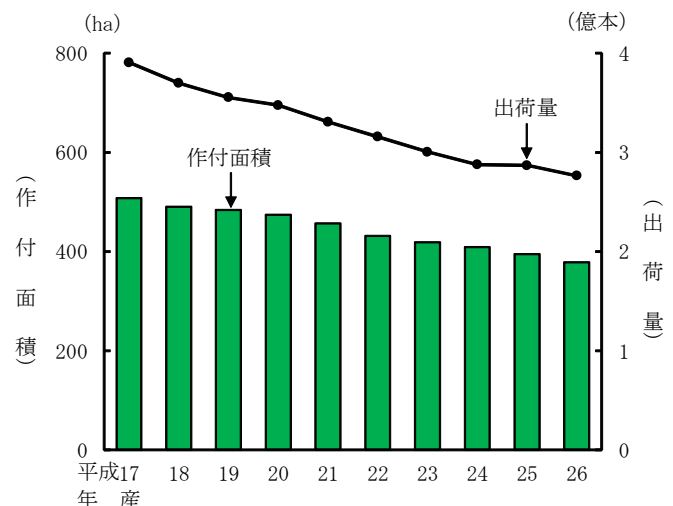


図8 ばらの作付面積及び出荷量の推移



エ リンどう

作付面積は440haで前年産に比べて12ha（3%）減少した。これは、労力不足による作付中止があったこと等による。出荷量は8,520万本で、前年産に比べて350万本（4%）増加した。これは、作付面積は減少したものの、生育が良好だったことによる。

都道府県別では、岩手県が全国の約6割を占めている。

図9 リンどうの都道府県別出荷量割合

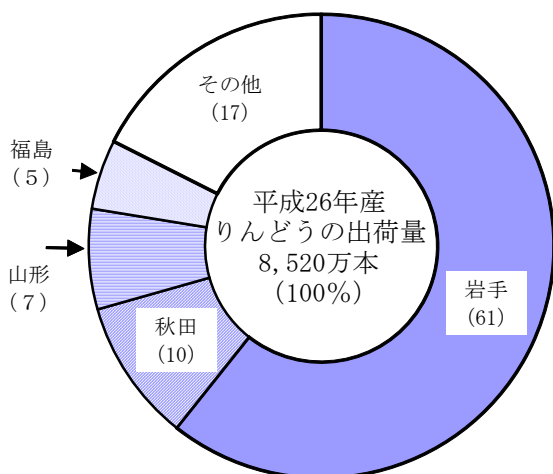
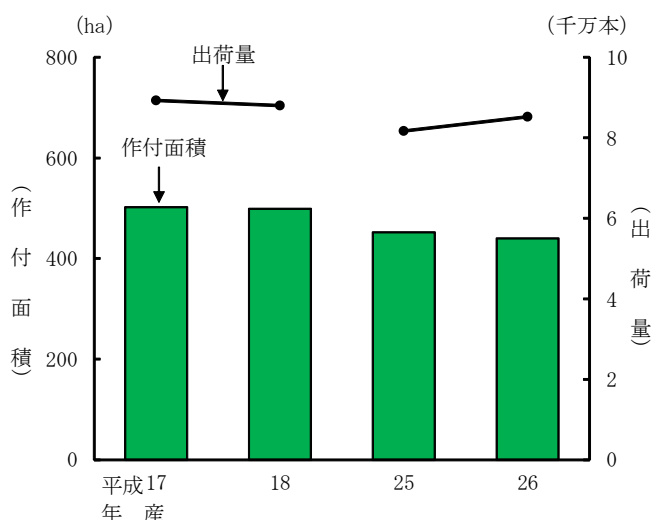


図10 リンどうの作付面積及び出荷量の推移



注：平成19年産から平成24年産までは調査対象品目の見直しを行ったことから調査を実施していない。

オ 洋ラン類

作付面積は141ha、出荷量は1,790万本で前年産に比べてそれぞれ11ha（7%）、120万本（6%）減少した。これは、雪害による施設の破損、他品目への転換等による。

都道府県別では、福岡県及び徳島県が16%となっており、この2県で全国の約3割を占めている。

図11 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

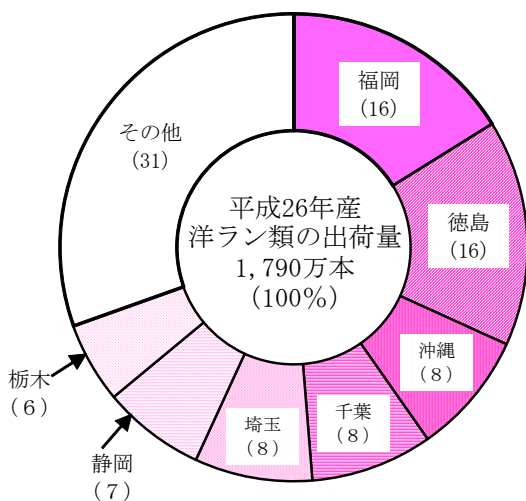
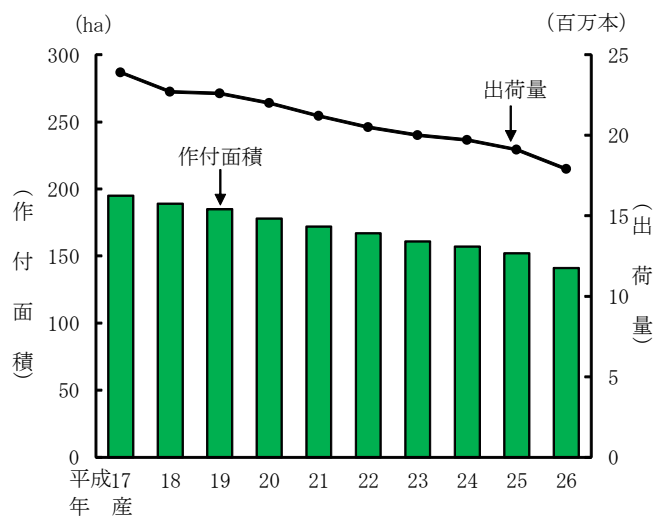


図12 洋ラン類の作付面積及び出荷量の推移



カ スターチス

作付面積は189ha、出荷量は1億1,730万本で前年産に比べてそれぞれ3ha（2%）、130万本（1%）減少した。

都道府県別では、和歌山県が全国の約5割を占めている。

図13 スターチスの都道府県別出荷量割合

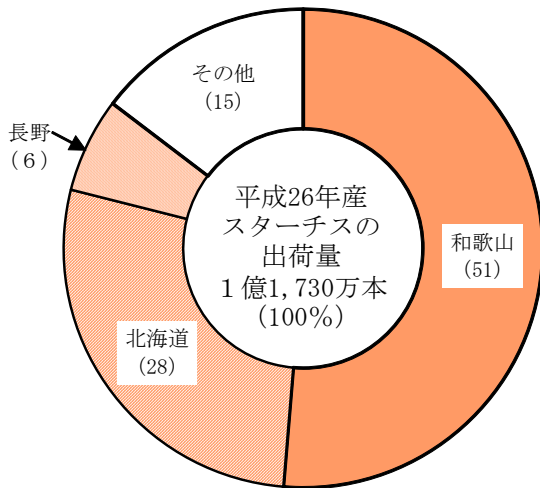
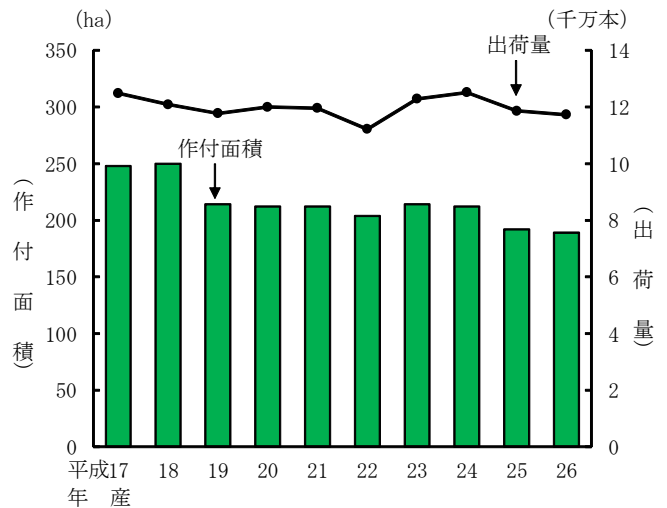


図14 スターチスの作付面積及び出荷量の推移



キ ガーベラ

作付面積は93haで前年産に比べて2ha（2%）減少、出荷量は1億6,500万本で前年産並みとなった。

都道府県別では、静岡県が38%、福岡県が15%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図15 ガーベラの都道府県別出荷量割合

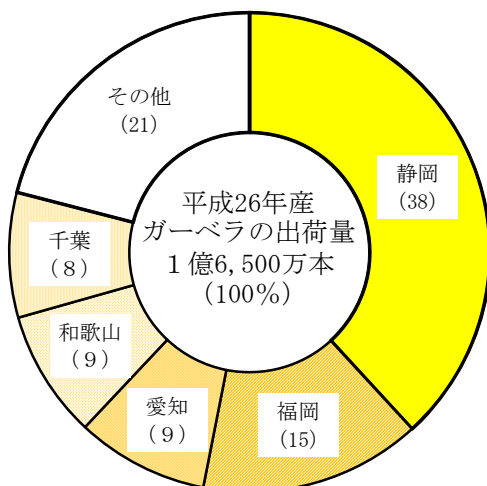
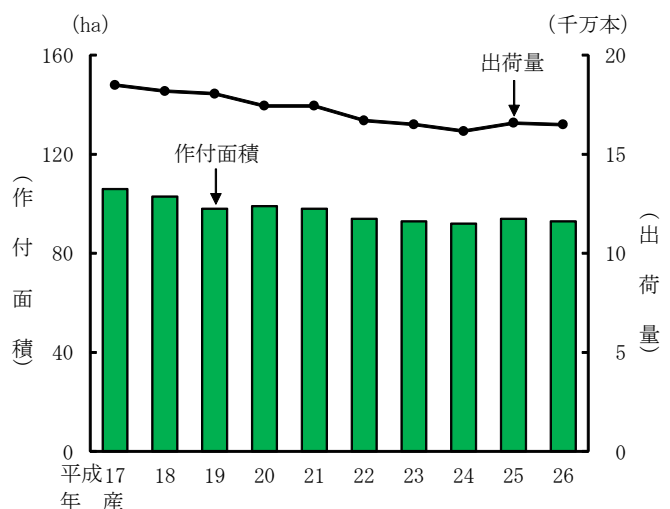


図16 ガーベラの作付面積及び出荷量の推移



ク トルコギキョウ

作付面積は424ha、出荷量は1億本で前年産に比べてそれぞれ7ha（2%）、210万本（2%）減少した。

都道府県別では、長野県が13%、熊本県が12%、福岡県が10%となっており、この3県で全国の約4割を占めている。

図17 トルコギキョウの都道府県別出荷量割合

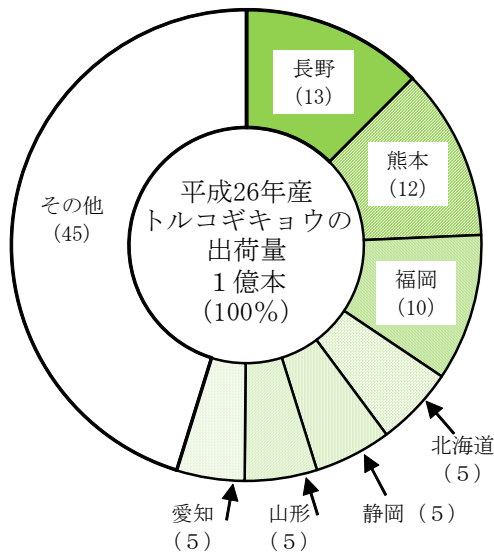
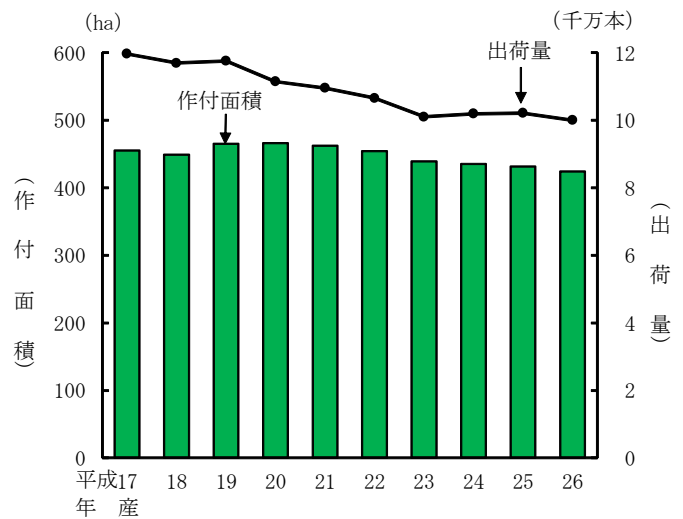


図18 トルコギキョウの作付面積及び出荷量の推移



ケ ゆり

作付面積は772ha、出荷量は1億4,410万本で前年産に比べてそれぞれ17ha（2%）、430万本（3%）減少した。これは、冬期の低温及び夏期の日照不足により生育の停滞がみられたこと等による。

都道府県別では、埼玉県が18%、高知県が12%、新潟県が11%となっており、この3県で全国の約4割を占めている。

図19 ゆりの都道府県別出荷量割合

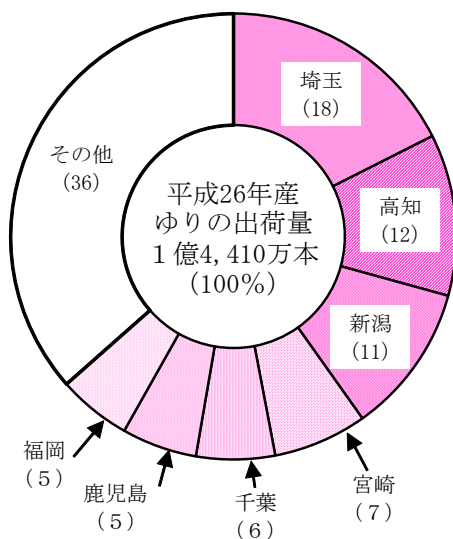
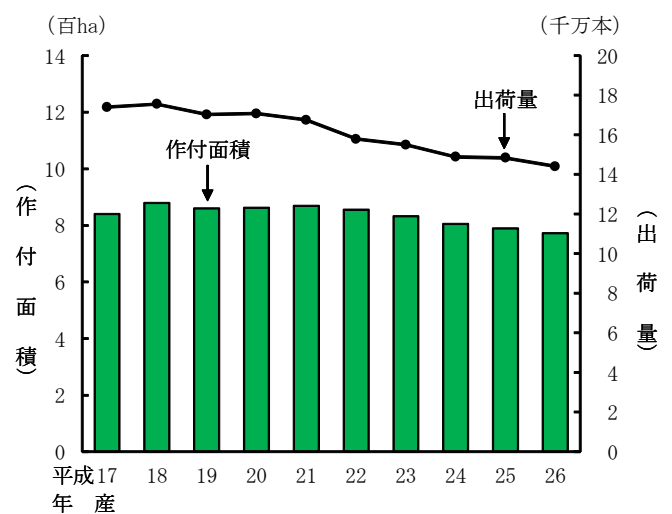


図20 ゆりの作付面積及び出荷量の推移



コ アルストロメリア

作付面積は85haで前年産に比べて4 ha（4％）減少した。これは、雪害による施設の破損、他作物への転換等による。出荷量は6,030万本で、前年産に比べて70万本（1％）増加した。これは、作付面積は減少したものの、生育が良好だったことによる。

都道府県別では、長野県が34％、愛知県が18％、北海道及び山形県が12％となっており、この4県で全国の約8割を占めている。

図21 アルストロメリアの都道府県別出荷量割合

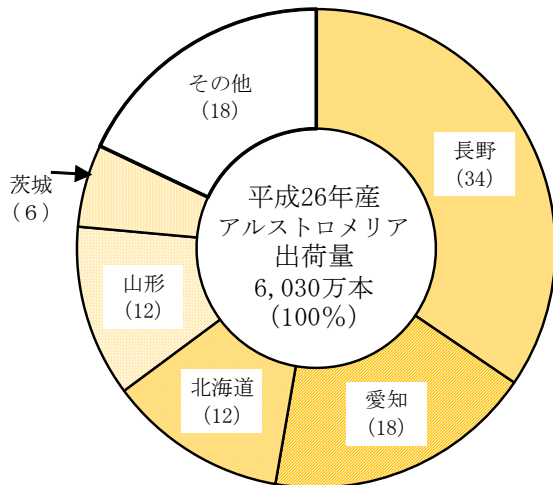
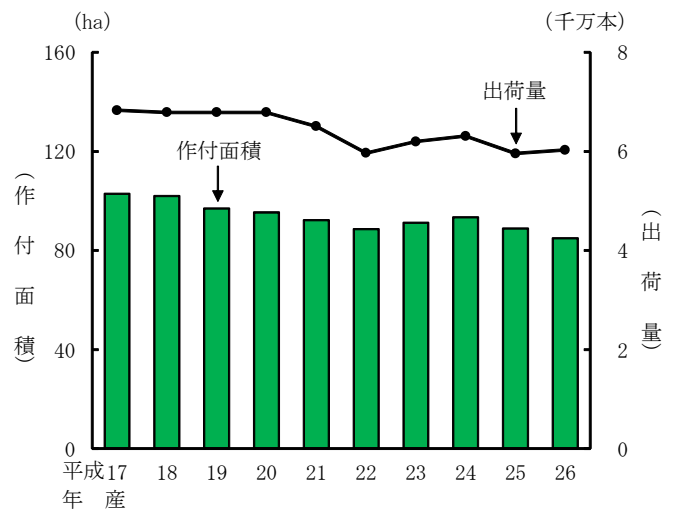


図22 アルストロメリアの作付面積及び出荷量の推移



サ 切り葉

作付面積は714haで前年産に比べて4 ha（1％）増加した。出荷量は1億3,760万本で、前年産に比べて360万本（3％）減少した。これは、台風被害等による。

都道府県別では、東京都が35％、沖縄県が22％、鹿児島県が13％となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図23 切り葉の都道府県別出荷量割合

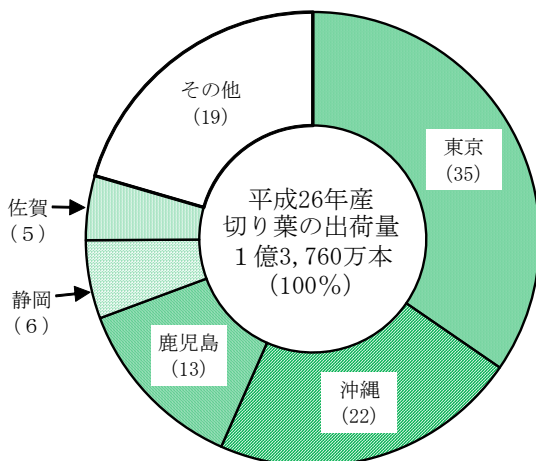
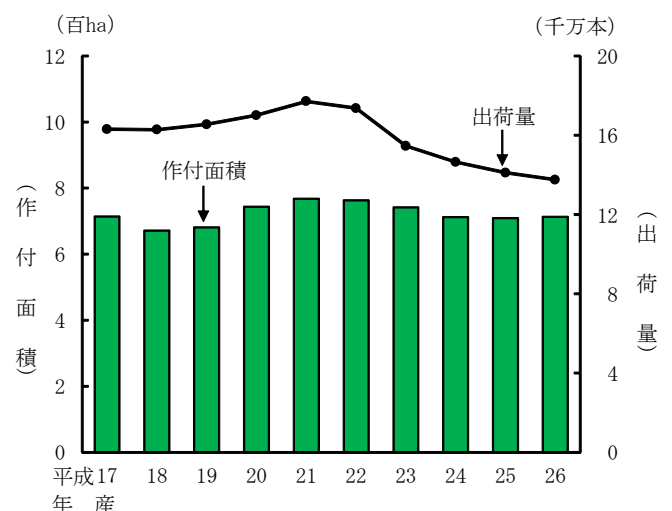


図24 切り葉の作付面積及び出荷量の推移



シ 切り枝

作付面積は3,667ha、出荷量は2億950万本で前年産に比べてそれぞれ51ha（1%）、480万本（2%）減少した。

都道府県別では、静岡県が15%、茨城県が14%となっており、この2県で全国の約3割を占めている。

図25 切り枝の都道府県別出荷量割合

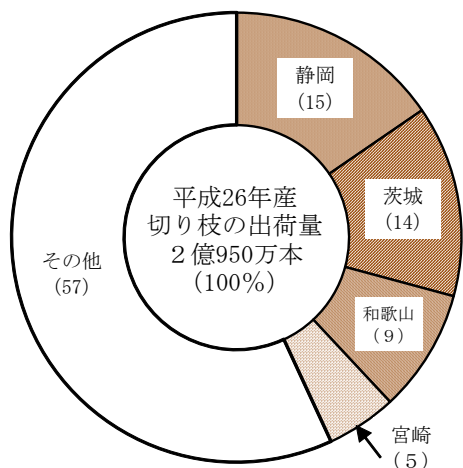
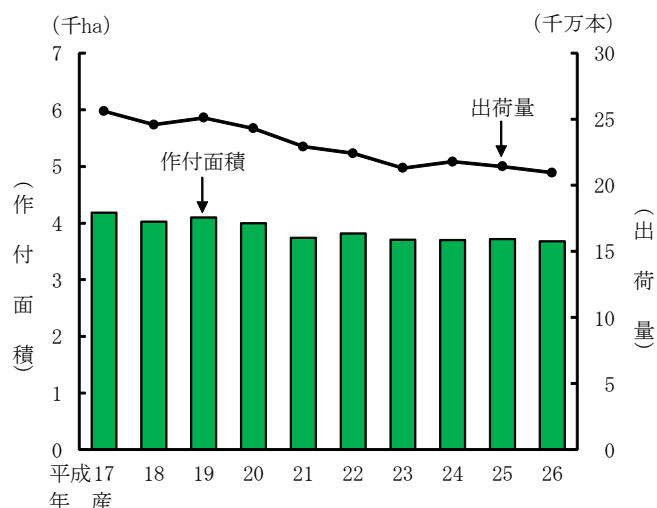


図26 切り枝の作付面積及び出荷量の推移



(2) 球根類

収穫面積は379ha、出荷量は1億810万球で、前年産に比べてそれぞれ35ha（8%）、400万球（4%）減少した。これは、生育は良好だったものの、需要の減少に伴う栽培規模の縮小等による。

都道府県別では、鹿児島県が23%、新潟県が21%、富山県が18%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

表3 平成26年産球根類の収穫面積及び出荷量（全国）

品目	収穫面積	出荷量	対前年産比		参考 産出額 (平成25年) 億円
			収穫面積	出荷量	
球根類計	379 ha	10,810 万球	92 %	96 %	24

図27 球根類の都道府県別出荷量割合

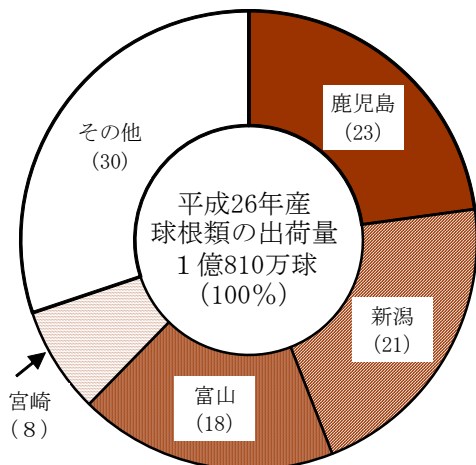
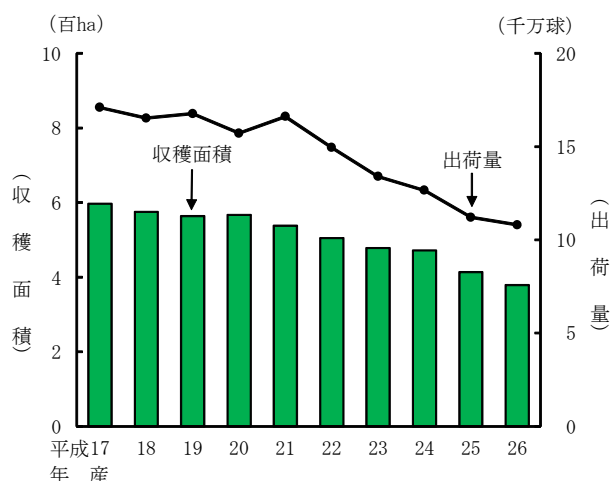


図28 球根類の収穫面積及び出荷量の推移



(3) 鉢ものの類

収穫面積は1,764ha、出荷量は2億3,360万鉢で、前年産に比べてそれぞれ32ha（2%）、1,050万鉢（4%）減少した。

品目別にみた出荷量の構成割合は、花木類が21%、観葉植物が18%、シクラメンが8%、洋ラン類が7%となっている。

表4 平成26年産鉢ものの類の収穫面積及び出荷量（全国）

品目	収穫面積 ha	出荷量 万鉢	対前年産比		参考 産出額 (平成25年) 億円
			収穫面積 %	出荷量 %	
鉢ものの類	1,764	23,360	98	96	980
うちシクラメン	194	1,860	96	97	92
洋ラン類	210	1,590	96	98	311
観葉植物	315	4,290	98	95	123
花木類	424	4,820	100	96	179

注：鉢ものの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計値である。

図29 鉢ものの類の品目別出荷量割合

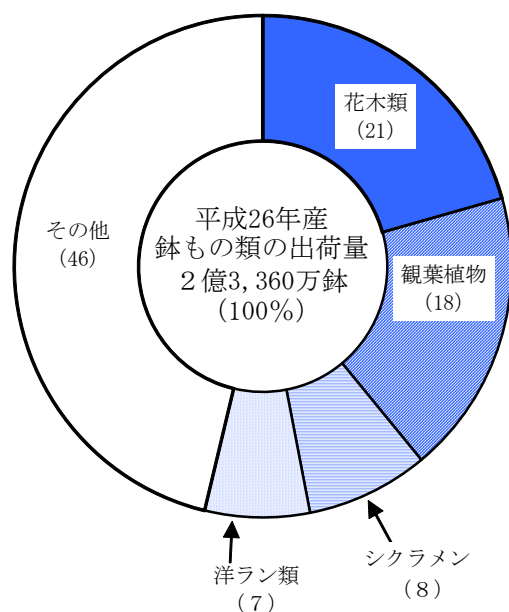
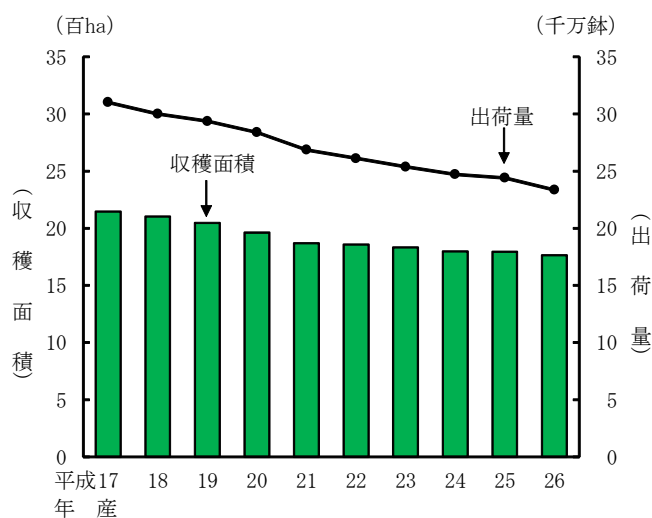


図30 鉢ものの類の収穫面積及び出荷量の推移



ア シクラメン

収穫面積は194ha、出荷量は1,860万鉢で、前年産に比べてそれぞれ9ha（4%）、60万鉢（3%）減少した。これは、規模縮小、雪害による施設の破損等による。

都道府県別では、長野県が15%、愛知県が11%となっており、この2県で全国の約3割を占めている。

図31 シクラメンの都道府県別出荷量割合

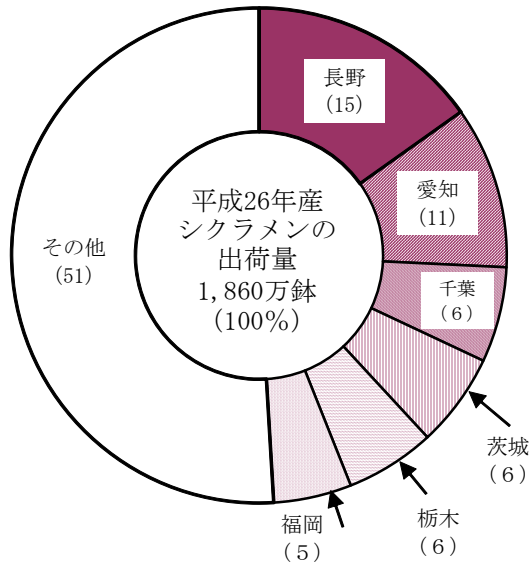
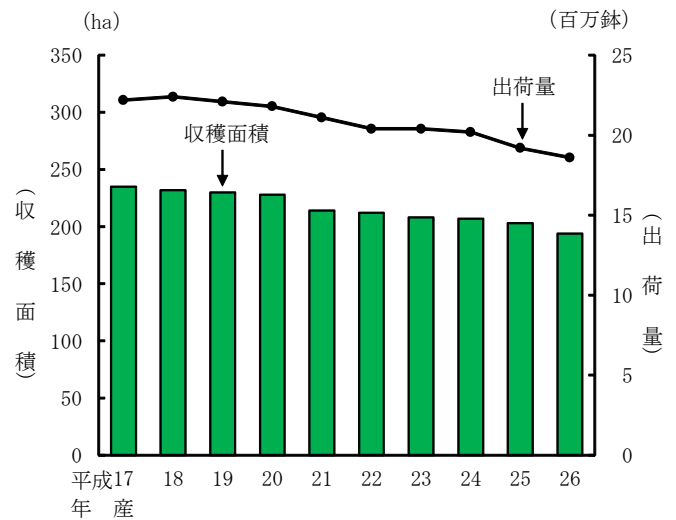


図32 シクラメンの収穫面積及び出荷量の推移



イ 洋ラン類

収穫面積は210ha、出荷量は1,590万鉢で、前年産に比べてそれぞれ9ha（4%）、30万鉢（2%）減少した。これは、生育は良好だったものの、需要の減少に伴う栽培規模の縮小等による。

都道府県別では、愛知県が22%、熊本県が10%となっており、この2県で全国の約3割を占めている。

図33 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

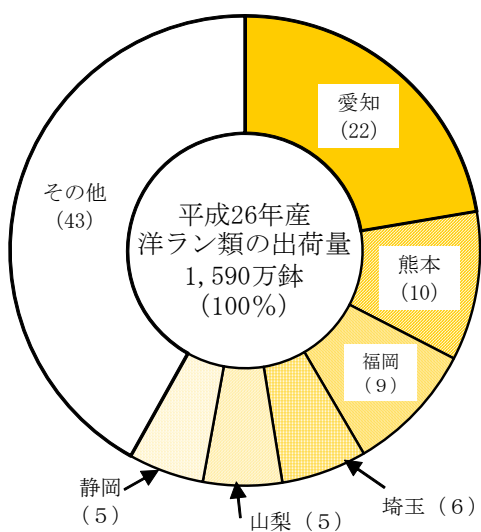
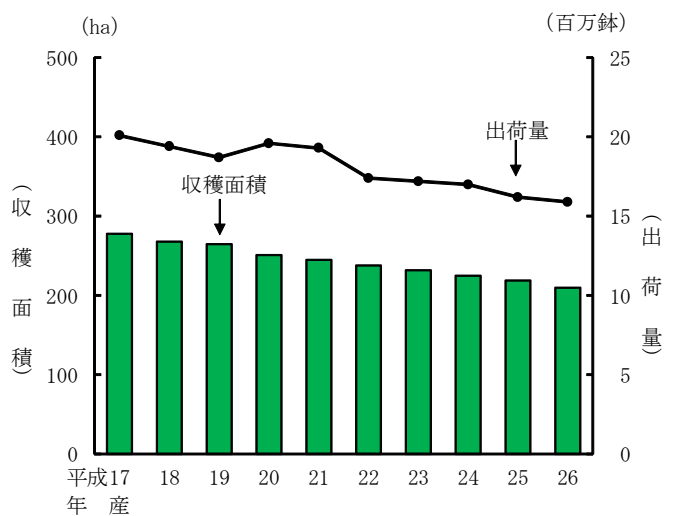


図34 洋ラン類の収穫面積及び出荷量の推移



ウ 観葉植物

収穫面積は315ha、出荷量は4,290万鉢で、前年産に比べてそれぞれ8ha（2%）、240万鉢（5%）減少した。これは、燃油価格の高騰で加温を控えたため生育が停滞したこと等による。

都道府県別では、愛知県が全国の約5割を占めている。

図35 観葉植物の都道府県別出荷量割合

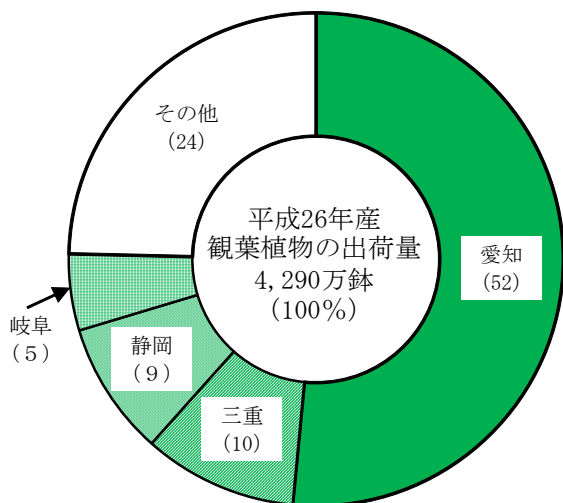
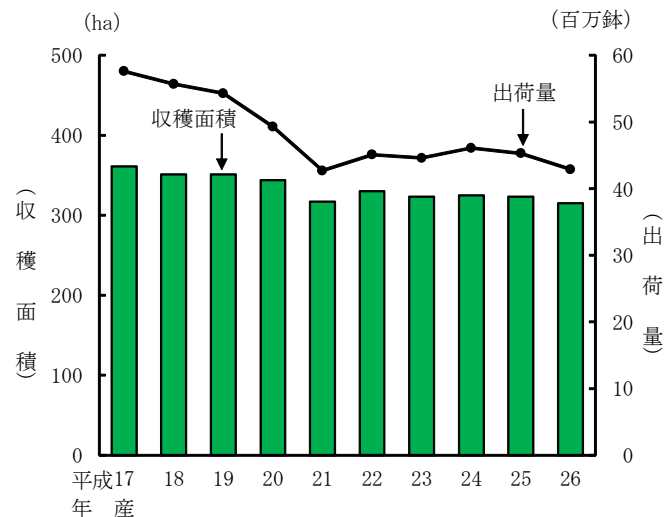


図36 観葉植物の収穫面積及び出荷量の推移



エ 花木類

収穫面積は424haで前年産並み、出荷量は4,820万鉢で前年産に比べて190万鉢（4%）減少した。これは、生育不良、台風被害等による。

都道府県別では、愛知県が29%、新潟県が19%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図37 花木類の都道府県別出荷量割合

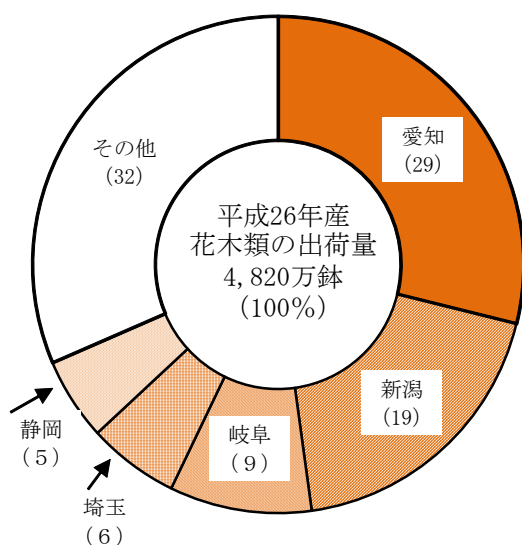
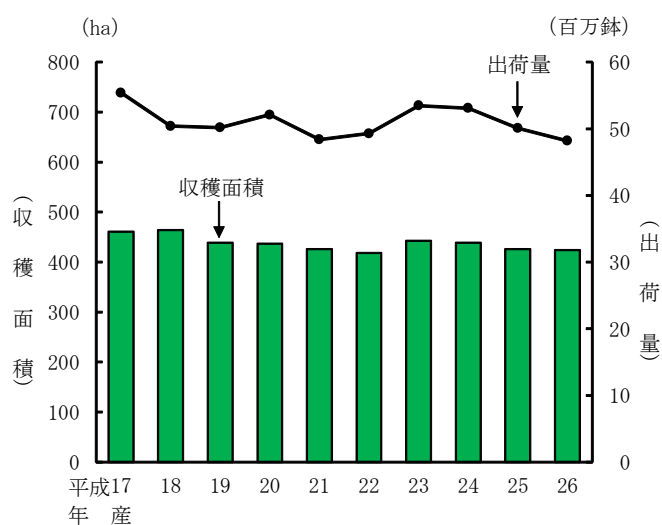


図38 花木類の収穫面積及び出荷量の推移



(4) 花壇用苗もの類

作付面積は1,491ha、出荷量は6億9,520万本で、前年産に比べてそれぞれ40ha（3%）、1,850万本（3%）減少した。

都道府県別では、愛知県が9%、千葉県及び埼玉県が8%、福岡県及び奈良県が5%となっている。

表5 平成26年産花壇用苗もの類の作付面積及び出荷量（全国）

品目	作付面積	出荷量	対前年産比		参考 産出額 (平成25年) 億円
			作付面積	出荷量	
花壇用苗もの類	1,491	69,240	97	97	323
うちパンジー	294	14,440	98	96	58

注：花壇用苗もの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計値である。

図39 花壇用苗もの類の都道府県別出荷量割合

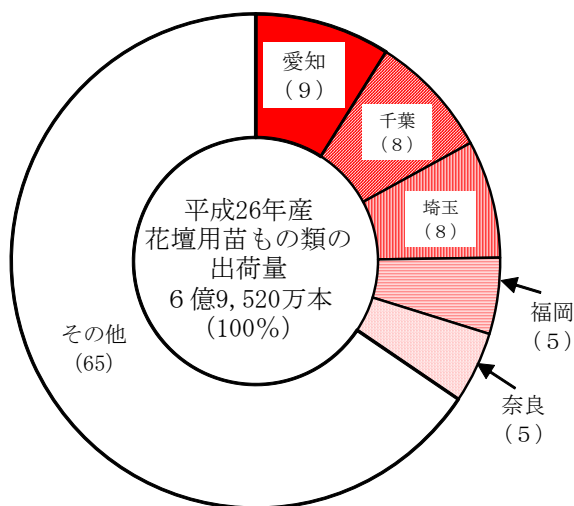
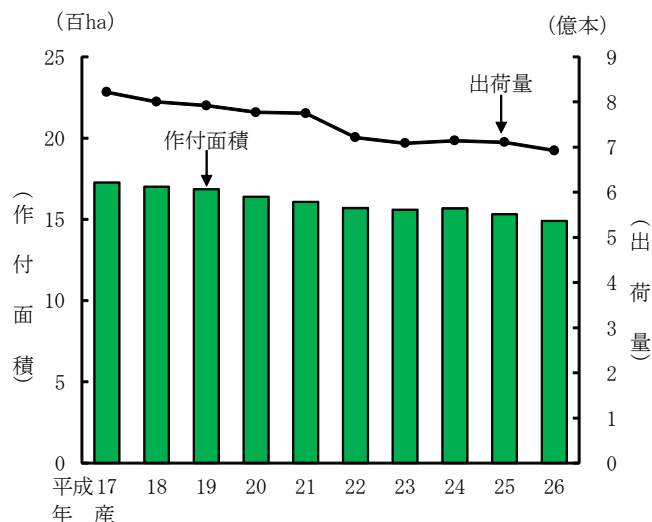


図40 花壇用苗もの類の作付面積及び出荷量の推移



このうちパンジーの作付面積は294ha、出荷量は1億4,440万本で、前年産に比べてそれぞれ6ha（2%）、610万本（4%）減少した。これは、雪害による施設倒壊、台風被害等による。

都道府県別では、埼玉県が8%、神奈川県が7%、奈良県及び愛知県が6%、茨城県及び千葉県が5%となっている。

図41 パンジーの都道府県別出荷量割合

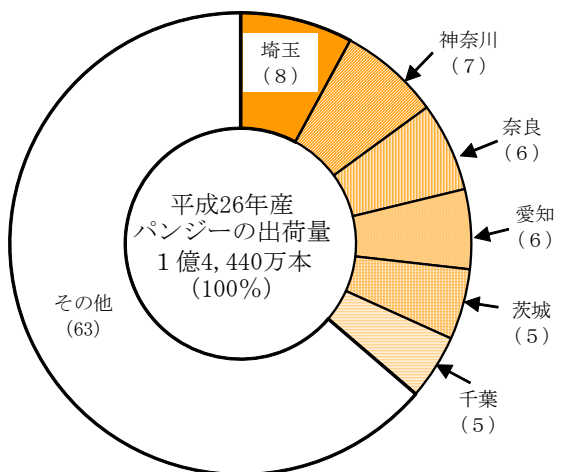


図42 パンジーの作付面積及び出荷量の推移

